

## 令和5（2023）年度 資源評価調査報告書（新規拡大種）

種名	イシダイ	対象水域	日本海西・東シナ海
担当機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、山口県水産研究センター、福岡県水産海洋技術センター、長崎県総合水産試験場、佐賀県玄海水産振興センター、熊本県水産研究センター		

## 1. 調査の概要

山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県は、各県の主要港または主要市場における2014～2022年までの漁獲量データを、水研機構は以西底びき網における1996～2022年までの漁獲量データを収集し、漁獲状況を把握した。

山口県は、2021年に149個体、2022年に193個体、福岡県は、2022年に54個体について、それぞれ精密測定を行い、漁獲物の性状を把握した（図示していない）。

## 2. 漁業の概要

日本海西・東シナ海における2012年以降の漁獲量（熊本県～山口県の各県の主要港・市場の合計）は年間59～97トン（直近10年平均75トン）で、県別には長崎県の漁獲量が圧倒的に多い（図1、表1）。2022年の月別の漁獲傾向は、各県類似しており、概ね産卵期前の3～5月がピークとなったが、山口県では11～12月の漁獲も比較的多かった（図2）。

## 3. 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：水深1～10mの沿岸の岩礁域に生息し、日本全国、朝鮮半島沿岸、済州島、台湾に分布（波戸岡・柳下 2013）。
- (2) 年齢・成長：年齢情報なし。全長80cmに達する（荒賀 1984）。
- (3) 成熟・産卵：天然魚の情報なし。養殖イシダイの雄は生後満1年、雌は満2年で一部成熟する。産卵期は5～7月（熊井 1984）。
- (4) 被捕食関係：全長10cm以上で雑食性が強くなり、フジツボ、貝類、エビ、カニ類のほか海藻も摂食する（熊井 1984）。

## 4. 資源状態

資源水準を判断できる長期漁獲量や資源量指標値が得られていないため、資源水準は不明である。2012年以降の各県漁獲量の集計によると、長崎県の漁獲量が年々増加傾向であり、全体量を引き上げている。直近5年間（2018～2022年）の各県合計漁獲量の動向を見ると、2021年がピークであったが、2022年に大きな落ち込みはなかったため、資

源動向は増加と判断した。

## 5. その他

浅海域において混獲される魚種であり、本種を対象とした資源回復の取組は行われていない。資源評価を行うためには、生物情報や漁獲情報のさらなる収集に努める必要がある。産卵期とされている5～7月直前の漁獲量が多い状況が継続すれば、資源の減少につながる可能性があると考えられる。

## 6. 引用文献

- 荒賀忠一 (1984) イシダイ科 Oplegnathidae. 「日本産魚類大図鑑《解説》」益田 一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫編, 東海大学出版会, 東京, 184p.
- 波戸岡清峰・柳下直己 (2013) イシダイ科 Oplegnathidae. 「日本産魚類検索 全種の同定 第三版」中坊徹次編, 東海大学出版会, 東京, 1073p.
- 熊井英水 (1984) イシダイの養殖生物学的研究. 近畿大学水産研究所報告, **2**, 1-127.

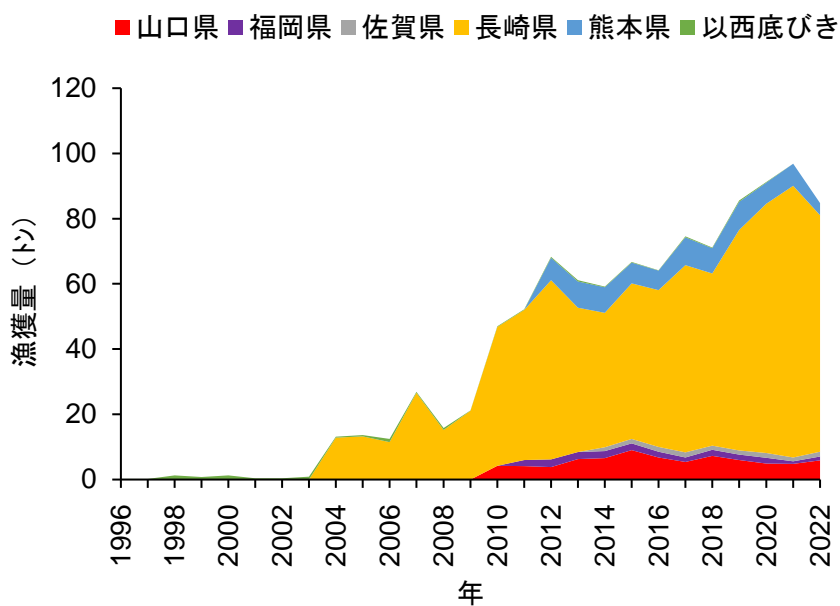


図1. インダいの年別県別漁獲量 以西底びきは1経営体による漁獲。

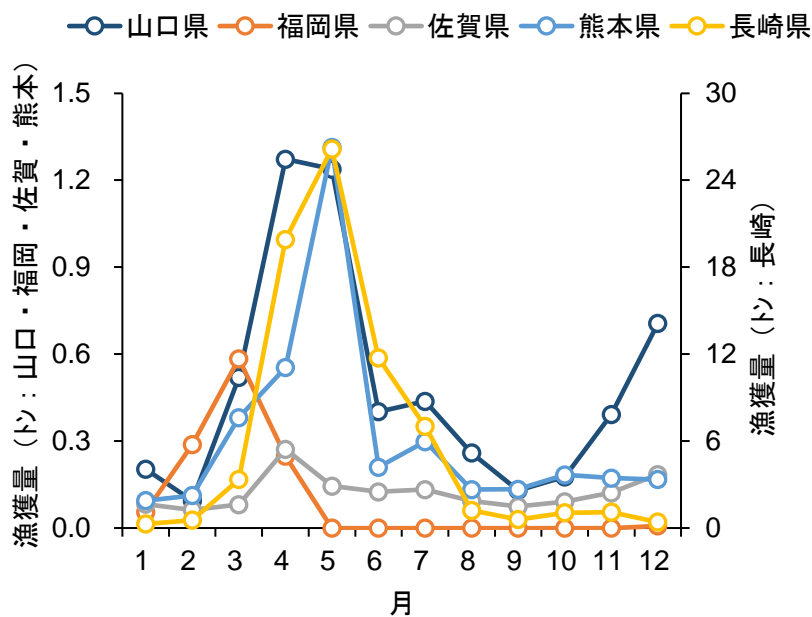


図2. 2022年の月別県別漁獲量

表 1. イシダイの年別県別漁獲量の推移

年	漁獲量: kg						合計
	山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	以西底びき	
2012	3,842	2,338		54,946	6,921	208	68,255
2013	6,287	2,120		44,288	8,022	368	61,085
2014	6,554	2,136	1,175	41,222	7,884	240	59,211
2015	8,999	2,069	1,355	47,733	6,415	160	66,731
2016	6,751	1,792	1,413	48,090	6,007	160	64,213
2017	5,356	1,344	1,618	57,396	8,591	280	74,585
2018	7,275	1,808	1,254	52,874	7,711	176	71,098
2019	5,908	1,672	1,285	67,633	8,692	368	85,558
2020	4,876	1,728	1,523	76,440	6,540	144	91,251
2021	4,762	776	1,223	83,293	6,770	56	96,880
2022	5,831	1,184	1,468	72,539	3,756	48	84,826

山口県は代表 2 市場の漁獲量。

福岡県、熊本県は代表 1 漁協の漁獲量。

佐賀県は代表 1 漁協の魚市場の漁獲量。

長崎県は代表 2 漁協および 1 魚市場の漁獲量。

以西底びきは 1 経営体による漁獲量。